

東北町議会だより

第10号

発行 東北町議会
 編集 東北町議会広報
 特別委員会
 電話 0176-56-3111
 内線 310
 住所 東北町上北南
 四丁目32-484



10/31 東北町立甲地小学校校舎改築工事合同安全祈願祭

主な内容

- ・主たる行政報告 2 P
- ・9月定例会で審議された議案 6 P
- ・決算審査報告要旨 7 P
- ・一般質問 7 P
- ・各種委員会及び協議会の活動 12 P
- ・委員会報告 13 P
- ・第1回臨時会 18 P

9月定例会 行政報告



19年度普通交付税
38億1523万1千円に決定
財政課関係

7月31日、平成19年度の普通交付税額が38億1523万1千円に決定されました。これは、当初予算計上額に對しては、1億1523万1千円の増となるものであります。対前年度比では、1・6%、6133万4千円の減となるものであり、町財政は依然として厳しい状況にあります。

地方公共団体の財政の健全
化に関する法律が6月22日に公布され、財政の健全化が強く求められており、今後とも財政改革を推進するとともに、新町の町づくりに留意しつつ、より慎重な財政運営に努めて参りたいと思っております。尚、財政厳しい状況でありましたが、9月補正後、基金残高は約9億3千万円(財政調整基金、減債基金)となっております。

要望活動進む

建設課関係

本年度予定している事業のうち、まず基地対策関係事業では鶴ヶ崎1号線改良舗装工事を始め、町道423号線(旭町)改良舗装工事。実施設計業務委託では、町道517号線(小川原小学校通り)外3路線について、すでに発注済で、いずれも今年度は天候に恵まれたこともあり、順

調に推移しております。国土交通省関係事業では、坂下町・乙供停車場線改良舗装工事外4件について発注済であります。その他、今年度予定している事業については、用地、補償交渉を始め交付申請事務を進めており、事務手続きが完了し次第順次発注を進めて参りたいと考えております。6月定例会終了後の6月27日から28日にかけて議会の皆様と防衛施設庁、仙台防衛施設局並びに国土交通省本省、国土交通省東北地方整備局に要望活動を行っております。特に、防衛施設庁では、江渡先生のご配慮を賜り、木村太郎安全保障委員長同席のもと、私どもが要望している「三沢飛行場及び航空自衛隊第4補給処東北支処の運用による障害緩和と生活環境整備に関する」10項目の要望について、防衛施設庁トップの北原長官からそれぞれ前向きな回答を頂いて参りました。国土交通省本省においては、峰久国土交通審議官(現在事務次官に就任)を始め、宮田道路局長に対し、一般国道45号「上北道路」の整備促進並びに「上北横断道路」の早期完成の要望をして参りました。

更には、私が期成同盟会長を仰せつかっております、高瀬川流域改修促進期成同盟会並びに七戸川改修促進期成同盟会の2同盟会で、8月6日から7日にかけて、三沢市の副市長・七戸町の副町長、その外関係土地改良区の理事長からご参加を頂き、国土交通省本省、国土交通省東北地方整備局に要望活動を行っております。国土交通省本省においては、門松河川局長、谷口技官に、高瀬川(小川原湖)流域の改修事業の促進を要望して参りました。尚、最近の情報として、今年度中に鶴ヶ崎船ヶ沢ノ沢に至る無築堤区間の調査測量設計に入り、一部、鶴ヶ崎地区の工事に着手の予定と伺っております。又、在日米軍の再編に絡んで、今、三沢基地も大きな態様の变化の中で様々な動きがあります。基地再編の受け入れにあたっては、基地強化に繋がる負担増になることから、議員皆様のご理解を頂いて、苦渋の選択をいたしました。一つは、沖縄に集中している米軍の一部を本土の自衛隊施設へ移転ということで、7月17日から20日までの4日間、

【議会の動き】

七月

- 1日 自由民主党演説会
- 5日 全国市議会議長会基地協議会理事會
- 6日 基地対策特別委員会 全員協議會
- 7日 かみきた夏まつり行事
- 8日 東北町民大運動會
- 9日 中部上北議会協議會理事會
- 10日 防衛庁訪問
- 12日 県下町村議会議員研修會
- 18日 高松義武元議員通夜
- 19日 鶴ヶ崎昂元議長通夜
- 20日 基地対策特別委員会
- 21日 青友會納涼パーティー
- 24日 上北療護園納涼祭
- 25日 東北町納税貯蓄組合連合會定例總會
- 28日 県民体育大會結団式
- 29日 わかさぎマラソン大會

八月

- 2日 湖水まつり開幕式・安全祈願修ばつ式・よさこいまつり・花火大會
- 4日 公立松風荘『夏まつり』
- 4日 新幹線・鉄道問題対策特別委員会県内調査
- 4日 けやき寮夏まつり

ます。
又、同期間で、わかさぎ公園においても、湖水まつりが開催され、7月29日のわかさぎマラソンも盛大のうちに挙行されました。

8月23日から26日までの4日間、東北町秋まつりが上北町駅通りを中心に行われました。上北地区8町内会による、5年目を迎えた自主制作の山車運行、仮装大会のほか、4町内による神楽の運行、保育園児や彩湖舞姫会による前夜祭、仮装大会への参加、10町内会参加による流し踊りが行われました。

この4日間、大変な賑わいをもたらしたことは、地域住民が丸となって、秋まつりを盛り上げたことが大きな要因であり、この場を借りて感謝を申し上げます。期間中は、天候にも恵まれ、延べ3万5千人もの人出があり、町民を大いに楽しませました。

尚、9月13日から16日までの4日間、乙供駅前広場を主会場に日の本中央たいまつ祭が行われます。みこし山車運行、仮装大会、流し踊り大会、ナニヤドヤラ大会、たいまつ祭、終演花火、東北中生による吹奏楽パレード等々いろいろないイベントがありますので、町

民多数の参加及び観覧されま
すことをお願い申し上げます。

体育大会・吹奏楽コンクールで中学生活躍

学務課関係

7月23日に、教育関係講演会が開催されました。「バカの壁」の著者、養老孟司氏の講演会「豊かな人間性と学力の育成」をテーマとして、青森原燃テクノロジーズセンターと共催で開催しましたところ、東北町保・小・中、連携教育推進会議関係者や町内の教職員をはじめとして町内外から125名の多くの参加を頂き、盛会裏に開催することができました。

6月16日から18日までの3日間開催されました上北地方中学校体育大会夏季大会で町内各中学校3校とも、昨年に引き続き大活躍されました。上北中学校は、団体の部・6種目で準優勝し、個人の部・6種目で8名が1位、東北中学校は、団体の部・3種目で優勝、1種目で準優勝し、個人の部・10種目で10名が1位、東北東中学校は、個人の部・4種目で、4名が2位の好成績を上げました。
以上、予選を突破した選手

は、7月22日から24日までの3日間開催された、青森県中学校体育大会夏季大会に出場されました。その結果上北中学校は、柔道女子63kg級で第1位となり、東北大会に出場、柔道女子44kg級、柔道女子48kg級、柔道女子52kg級でそれぞれ第3位に入賞、東北中学校は、陸上競技男子共通800mで第1位、陸上競技男子2・3年1500mで第2位、陸上競技男子3000mで第1位と4位、陸上競技女子1500mで第2位、陸上競技女子2・3年1500mで第3位、陸上競技女子共通4種競技で第2位、ソフトテニス男子団体で準優勝、ソフトテニス男子個人で第3位、バドミントン男子ダブルスで第3位となり、それぞれ東北大会に出場されました。

楽コンクール青森地区大会で、中学校小編成の部で金賞を受賞し、7月29日に開催された県大会において見事銅賞を獲得されました。
各種大会に出場されました選手の方々に心からその健闘を讃えるものであります。

県民駅伝町の部13連覇達成・各種大会盛大に開催される

スポーツ振興課関係

6月9日、10日の両日、野辺地町を主会場に行われた、上北郡総合体育大会で、陸上競技・ソフトボール男子と女子・卓球男子・家庭婦人バレーボール・柔道・ボウリングの7種目を制して、総合優勝2連覇を達成しました。これは旧町から引き継いで10連覇となります。

7月14日・15日、三沢市を主会場に開催された北奥羽総合体育大会で、上北郡を代表して出場した野球と柔道競技が優勝し、総合で上北郡が準優勝しました。

6月23日、北総合運動公園で開催の青森県小学生駅伝競走大会に、県内各地から男子15チーム、女子16チームが参加し、東北町から4校が参加され、姥沢小学校が男女アベツ

20日 東北町(上北地域) 敬老会
21日 県中学校駅伝競走大会 開会式
東北町(東北地区)

22日 全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクあおもり2007」開会式

23日 東北町民総合体育大会

26日 七戸地区交通安全総決起大会

29日 自由民主党青森県支部連合会定期大会

30日 六戸町町政施行50周年記念式典並びに祝賀会

ク優勝しました。優勝した姥沢小学校は、10月の田舎館駅伝と来年3月に大阪で開催される全国大会に出場をめざし頑張っております。

7月8日、第2回町民運動会が北総合運動公園で20チーム約1500人の町民が集い盛大に開催され、小川原チームが初優勝に輝きました。町最大のスポーツイベントである町民大運動会への町民各位のご協力とご声援に改めて感謝とお礼を申し上げます。
湖水まつり期間の初日の28日に、特別ゲストランナーに上武大学駅伝部監督であり、

オリンピック2回出場の花田勝彦氏を迎えて開催した「わかさぎマラソン大会」には、北は北海道、南は長崎県の各地から、約1200人のマラソン愛好者が集い、爽やかな小川原湖畔コースを健脚で競い合い、盛大のうちに終了することができました。

7月31日と8月1日に七戸町で開催の七戸町長杯兼七戸地区防犯小中学校野球・ソフトボール大会では、ソフトボールで第一小が優勝、小川原小が準優勝、野球で蛭沢小が準優勝し、中学校は野球で上北中、ソフトボールで東北東中がそれぞれ優勝しました。

8月4日、B&Gスポーツ大会青森大会が浜台わかさぎ公園を主会場に水上・剣道・水泳の3競技が実施され、剣道・水泳が団体優勝し、水上でも多数の入賞がありました。

7月28日から8月11日の日程で、むつ市で開催された、市町村対抗青森県民体育大会に17競技19種目に総勢250名の選手団が参加され、野球・ソフトボール男子及び女子・柔道が優勝、総合で3位と健闘し、県南でトップの成績となりました。

県内最大の駅伝大会である青森県民駅伝競走大会が9月

2日、青森市で開催され、町の部で見事優勝し、13連覇の偉業を達成されました。競技内容については、町民の皆さんは、テレビ観戦や新聞等でご承知のことと思いますが、

あえて申し上げますと、総合優勝されたむつ市にわずか18秒及ばずの総合2位となり、又、8区間のうち、区間新記録1名、区間賞3名と大活躍をされました。このことにより、東北町の名を県下に知らしめた選手の方々と、同時に応援してくださいました町民の皆さんに改めて心より敬意と感謝を申し上げます。

10月27日に日中国交正常化35周年を記念して、中国・瀋陽市（シenyang）で開催される「2007中国瀋陽日中青少年友好駅伝大会」に優勝チームとして、正式に出場の招待をうけましたので、学校当局等のご理解を頂ければ是非派遣したいと思っております。皆様のご理解を頂きたいと思っております。

海外での活躍と両国の青少年の交流が更に深まることをご期待しているところであります。

スポーツ少年団活動では、6月の全日本卓球選手権青森県大会で入賞した「東北町卓

心会」所属の沼村朋弥君・斉弥君兄弟が7月27日、神戸市で行われた全国大会に出場し、健闘されました。

8月4日、南総合運動公園で行われた青森県小学生女子ソフトボール選手権大会で、第一小学校ソフトボールスポーツ少年団が激戦を勝ち抜き、見事、優勝し、9月19日から山形県で開催される東北大会に青森県を代表して出場することとなっております。町民各位のご声援をお願いいたします。

成人式盛会に挙行される

中央公民館関係

5月11日、契約発注の淋代地区生涯学習センター解体工事は予定どおり進み、8月6日に完成し、引き続き同日契約の建築工事に入り、平成19年12月21日の工期で完成を目指し、順調に進んでおります。

8月15日、コミュニケーションで開催された成人式に267名の対象者のうち167名の出席があり、盛会に挙行され、それぞれの思いのもと、新たな人生のスタートをきりました。

将来の東北町を担う立派な社会人となるものと大いに期待するところであります。

平成18年度 各会計決算9件を認定する

(単位：円)

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	12,853,702,389	12,703,482,557	150,219,832
国民健康保険 事業特別会計	2,919,199,777	2,742,668,999	176,530,778
老人保健 特別会計	2,143,022,722	2,126,591,391	16,431,331
介護保険 特別会計	1,766,339,830	1,683,583,088	82,756,742
公共下水道 事業特別会計	721,382,165	713,227,659	8,154,506
農業集落排水 事業特別会計	77,102,938	76,200,997	901,941
簡易水道 事業特別会計	247,778,684	238,932,343	8,846,341
介護サービス 事業特別会計	8,635,500	7,688,079	947,421
水道事業会計 (消費税は除く)	173,691,359	183,282,521	9,591,162



決算審査報告をする蛭沢正雄委員長

9月定例会は、9月7日招集され13日までの4日間で開催されました。また、9月12日に決算審査特別委員会を設置(委員長 蛭沢正雄)し、各会計9件が審議されました。なお、9月13日の本会議(議案審議)で原案どおりいずれも可決されました。審議された議案は以下のとおりです。

9月定例会で 審議された議案

◎平成18年度青森県新産業都市建設事業団特定事業の決算報告について
報告済

◎平成18年度青森県新産業都市建設事業団特定事業以外の事業の決算報告について
報告済

◎平成18年度東北町一般会計歳入歳出決算の認定について
賛成多数で認定

◎平成18年度東北町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

◎平成18年度東北町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

◎平成18年度東北町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

◎平成18年度東北町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

◎平成18年度東北町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

◎平成18年度東北町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

◎平成18年度東北町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
全会一致で認定

◎平成18年度東北町上水道事業会計決算の認定について
全会一致で認定

◎平成19年度東北町一般会計補正予算案
・予算の総額に3億1268万円を追加し、総額を103億96万1千円とする。
全会一致で可決

◎平成19年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算案
・予算の総額に7841万6千円を追加し、総額を30億9151万円とする。
全会一致で可決

◎平成19年度東北町老人保健特別会計補正予算案
・予算の総額に2940万8千円を追加し、総額を2億1853万円とする。
全会一致で可決

◎平成19年度東北町介護保険特別会計補正予算案
・予算の総額に8647万1千円を追加し、総額を18億4028万8千円とする。
全会一致で可決

◎平成19年度東北町上水道事業会計補正予算案
・支出予定額を60万5千円追加し、収益的支出の予定額を1億9143万8千円とする。
全会一致で可決

◎平成19年度東北町農業集落排水事業特別会計補正予算案
・予算の総額に150万円を追加し、総額を8553万9千円とする。
全会一致で可決

◎東北町営住宅管理条例の一部を改正する条例案
・町営朝日団地建替整備事業の完了及び甲地団地解体工事完了等により、町営住宅

◎東北町肉用繁殖牛特別導入事業基金に関する条例案
・国・県の畜産総合対策事業が廃止され、青森県家畜導入事業に改められたため提案するもの。
全会一致で可決

◎千曳小学校通学路(旧奥州街道)舗装に関する陳情について
全会一致で採択

◎平成19年度東北町公共下水道事業特別会計補正予算案
・予算の総額に27万4千円を追加し、総額を7億3125万8千円とする。
全会一致で可決

◎平成19年度東北町簡易水道事業特別会計補正予算案
・予算の総額に205万円を追加し、総額を2億5961万6千円とする。
全会一致で可決

◎平成19年度東北町上水道事業会計補正予算案
・支出予定額を60万5千円追加し、収益的支出の予定額を1億9143万8千円とする。
全会一致で可決

◎東北町営住宅管理条例の一部を改正する条例案
・町営朝日団地建替整備事業の完了及び甲地団地解体工事完了等により、町営住宅

◎東北町肉用繁殖牛特別導入事業基金に関する条例案
・国・県の畜産総合対策事業が廃止され、青森県家畜導入事業に改められたため提案するもの。
全会一致で可決

◎千曳小学校通学路(旧奥州街道)舗装に関する陳情について
全会一致で採択

◎アメリカ産牛肉の輸入条件に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める陳情について

の設置戸数の変更が生じたので改正するもの。
全会一致で可決

◎財産の取得について
・町が新設する、ながいも洗浄選別・貯蔵施設の用地として土地を取得するためのもの。
全会一致で可決

◎町道の路線認定について
・町道398・3208号線を町道認定するためのもの。
全会一致で可決

◎向旗屋生活道路舗装に関する陳情について
全会一致で採択

◎県道甲地・水喰線に通じる町道巴蘭・漆玉線の道路改良工事に関する陳情について
全会一致で採択

◎千曳小学校通学路(旧奥州街道)舗装に関する陳情について
全会一致で採択

◎アメリカ産牛肉の輸入条件に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める陳情について

・予算の総額に7841万6千円を追加し、総額を30億9151万円とする。
全会一致で可決

・予算の総額に150万円を追加し、総額を8553万9千円とする。
全会一致で可決

・町営朝日団地建替整備事業の完了及び甲地団地解体工事完了等により、町営住宅

・町が新設する、ながいも洗浄選別・貯蔵施設の用地として土地を取得するためのもの。
全会一致で可決

全会一致で採択

◎日豪、日米などFTA・EPA促進路線の転換と、自給率向上にむけた施策の強化を求める意見書案
全会一致で可決

◎アメリカ産牛肉の輸入条件に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める意見書案
全会一致で可決

決算審査報告要旨



笹倉 勉 代表監査委員

平成18年度一般会計及び特別会計、企業会計の決算審査を8月1日から8月9日までの7日間実施した。

各会計の決算書並びに付属書類は計数が正確で事務も適正であると認められた。

なお、歳入において、収納率向上の努力は見受けられるが、今後においても町財政の健全化に向けた一層の取り組みが望まれるところであります。

一般質問

四議員 町政を問う



蛭 沢 正 雄 議員

質問一 健康増進センターについて

①各部屋の詳細など確定していないのか？

健康増進センターの各部屋及び全体面積は確定していないのか。ある程度確定している各部屋の面積など資料として出していたきたい。

答 弁

建設課長

防衛庁に概算要望する段での、概略的な平面図はあるわけですが、具体的に各部屋の面積などは、今のところはございません。これから議会を含めて町内の各層、各界からもご意見を聞きながら、来年度の実施設計の策定に当たり、十分反映できるように詰めていきたいと考えております。

答 弁

町 長

総体的に3700平米ぐらいということとは全員協議会でも申し上げましたとおり、大体決まっております。図面ではある程度スペースを割り振りしてありますが、まだ調整する余地があるということですので。どんどん知恵を出していただき、皆さんから広く意見を聞いて良いものをつくるというのが私どもの趣旨ですからご理解をいただきたい。

②策定委員会を信用できないのか？

大学教授や住民代表、役場課長などで構成される策定委員会の報告書では、事業収入

が9890万円、支出が9850万円ですが、町で作成した別紙資料では収入が7480万円、支出が7485万円となっております。内容は人件費を2千万円程削っている。

町長が査定したら2千万以上も下がり、中身も部屋割りも要望があれば幾らでも変えられる。これは町長は策定委員会の資料は信頼できないという意味にとれるが、私たちがこの資料をどう見ればいいのか疑問に思う。

答 弁

町 長

策定委員会の報告書は人件費が大雑把な計上であると思いが、7500万円のところがい、ペイラインでないのかなと思っております。かなりの時間をかけながら県内や全国の類似の関係のものを精査しながらやってきました。算定基礎もきちんと明細を出しております。

基本計画はあくまでも計画であり、委員会の考え方もあると思いますが、実際には地域の声を生かしてほしいという私の思いがあります。委員会の決定は、基本的な考え方として尊重していくというこ

とは変わっていません。平面図の枡の中で調整していきたいということですが。

③増進センターを拠点とした保健計画を示せ

先般の説明会で増進センターが特定検診、保健指導の拠点になって予防効果と医療費の削減効果があると説明されたが、保健計画は、なされているのか。

保健指導等に関しては、両地区の福祉センターや運動公園を生かすべきであり、風呂、プールの利用料金を現在よりずっと安くして大いに利用させたほうが有効ではないかと考えます。

答 弁

町 長

現在、副町長を委員長とした、特定検診等の運営委員会を発足させましたが、この施設をどのように利用するかはこれからの協議になります。

私ももとしては、保健師や栄養士などを採用して健康相談を、地域だけではなく、域外から来る人たちにもサービスを提供できる施設にしたいと思っております。

④赤字はどこで負担するのか？

利用料で賄い、独立採算制のようですが、何百万、何千万と赤字になった場合に一般財源から出すのか、それとも寄付を仰ぐのか。この目安をつけておかなければ当然承認できません。町長の計画を伺いたい。

⑤道の駅の隣接に建設を変更するの？

説明会で建設場所を道の駅に隣接したほうがよいという意見がありました。それに対して町長は検討すると答えておりましたが、建設場所を変更する考えはありますか。

答弁

町長

位置の問題については、相乗効果、総合的なバランス、あるいは一体管理ということからすれば、今の位置よりも道の駅に隣接したほうが絶対生かせるというご意見、激励を議員の皆様からいただきました。この件については、防衛庁と相談して位置の変更をしたいと思います。



岡山 粕男 議員

質問一 わが町の小中学校の耐震状況と整備計画を示せ

学校施設は、多くの児童生徒が1日の大半を過ごす学習生活の場であり、さらには、地域住民の災害時の避難場所ともなる施設でもあります。したがって、安全で安心な施設でなければならぬが、我が町の学校施設は青森県下で老朽化率が90・9%と第1位にランクされている。建築年が昭和30年代から40年代となつていて、耐震調査の状況はどうなつていのか。また、整備計画があれば示していただきたい。

答弁

町長

学校施設の耐震調査は、調査の必要の無い水喰小学校

質問二 今後の児童・生徒数の推計は？

出生率が低下し、少子化が進んでいる状況の中で平成20年以降の児童生徒の推計を学校別に示していただきたい。

答弁

町長

ご指摘のように、少子高齢化ということで我が町の状況も大変厳しい状況の中にあり、19年4月現在で小学生が1099名、中学生が569名、全体で1668名の子供たちがあります。学校別に20年から25年までの生徒数の推計は、小学校では第一小学校が15名減、上北小学校が35名減、小川原小学校が17名減、甲地小学校は4名減、蛸沢小学校が66名減、千曳小学校が24名減、水喰小学校が11名減となつて

質問三 学校統合に伴う交付税への影響と町長の考えを問う

おり、上北地区は67名、東北地区が105名減り、合わせて172名減の見込みであります。中学校は上北中学校が16名減、東北東中学校が11名増、東北中学校が19名減となり、合わせて24名減となっております。

答弁

町長

学校の統合は、上北地区で小学校が昭和44年、45年、47年の3回に7校が3校に、中学校は44年と47年に3校が1校に、そして東北地区では小学校が平成11年に11校が4校に、中学校は平成6年に8校が2校に統合したところでありますが、当時の学区の住民の抵抗は大きいものがあつたわけであり。昨今、住民環境や行政状況が多岐であり、学校統合は多難であると思つたが、総合的に見たときに、統合を視野に入れ、進めなければならぬと思つています。学校統合に伴う交付税への影響について示していただきたい。また町長は学校統合についてどのようにとらえているのか、長期的な視点と学校統合への意思をお聞かせいただきたいと思つています。

学校統合による交付税への影響は、小学校と中学校とで違いはあるが、おおよその金額で1学級減ると100万円、学校1校減ると900万円の交付税が減ることになります。ただし、統合による経費の減額もあるので単純に比較できない部分があることもご理解いただきたい。

少子化や学校の老朽化に伴い、学校統合を全く無視するわけにはいかなぬ事情もありますが、地域の理解なくして、統合はかなり厳しいと私は判断しています。地域の声というのは非常に重みがあります。また、12月頃から座談会をや

りたいと思っており、その際、特に要望があれば伺いたいと思います。



蛭名 鉦治 議員

質問一 一般競争入札導入の進捗状況について問

地方自治体の談合防止策を検討しておりました総務、国土交通両省と埼玉県などでつくる入札契約適正化連絡会議は、本年2月にすべての自治体で一般競争入札を導入するという旨の報告書を発表いたしました。総務省は、報告書を全自治体に通知し、3月末までに地方自治法の施行令を改正する方針であり、国土交通省は市町村に向けたそのマニュアルを作成し、運用面で支援するとの内容を受け、3月議会において町長に一般競争入札導入に関する見解を伺いましたところ、報告書の要旨を県から受け、町では19年

度以内に方向性を検討して法整備をし、県、他町村の動向を含めて一般競争入札導入の基準など、方向性を出したいと答弁をされました。そして、それから約6カ月が過ぎましたが、現段階での進捗状況を伺います。あわせて、検討会の回数及びそのメンバーについても伺いたします。

答弁

町長

現在、県では4億円以上が一般競争入札ということであり、県の公共調達改革推進委員会により4月25日に初めて一般競争入札について検討を始めました。そして12月には知事に報告することになっております。

上十三の状況もいろいろ聞いておりますが、まだ各町村とも確たるものが出ておりません。町としては、県の方向、上十三地域の市町村の動向を踏まえながら19年度末の3月までに我が町の一般競争入札に十分配慮して方向性を出していきたい。

質問二 健康増進センターについて

①民間業者を圧迫しないか

当町には、温泉を利用した事業経営を展開し、他の町より安価な料金で町民に便宜を供している業者が数多くいるわけですが、当施設が温泉を利用した施設である限り、競争する面が相当多く、個人の出資で経営をしている業者の皆さんに公金で建設し、個人経営を圧迫することになりはしないか憂慮するものであります。行政は、民業を圧迫することは避けなければならぬと思いますが、この点について町長の考えを伺います。

答弁

町長

民業の圧迫については全く無いとは言いませんが、入浴料は400円に設定する予定であり、民間と差がありますので余り心配はないと思っております。また軽食は別として、当初の計画通り食堂や宿泊所は作らないことは守つていき、旅館組合等の理解をいただいでいきたい。さらに、

地域の人たちの声も聞きながら、ある程度まとまった段階で旅館組合員の皆様に一番に説明しなければならぬと思っております。

②今後、両地区の福祉センター(風呂)をどうするのか?

既存の上北保健福祉センター、東北町老人福祉センター等の施設については、今後どのような取り扱いになるのかお伺いいたします。

答弁

町長

乙供地区の福祉センターについては、既に設計に入っており、私どもの意向を入れた形の設計を策定しているところであり、議会の承認を得られれば、来年度から大型の改修をして、高齢者の憩いの場所として利用できるようにする方向性も出ています。上北の保健センターについては築二十数年経ち、一部補修をさせていただいております。

③年間利用23万人の見込みに疑問

事業概要の収支計画を見ますと、年間23万人の利用客をもとに試算されておりませんが、23万人というと1日約630人です。言いかえまして、大型バスで毎日15台です。道の駅に10分くらい寄っていくのとは違い、風呂は支度も必要である。また、風呂の利用時間がひとり1時間近くだとしたら、朝から晩までひっきりなしに来ても消化できるのか。私にはどうにも考えにくいですが、23万人の根拠についてお伺いいたします。

また、合併により両方に温泉のセンターがあることから、それを利用し、何か付加価値を付け、健康増進をするという考えもあるのではないかと。これは箱物建設であり、建設後の維持管理については、財政事情が心配な昨今、最も気を使わなければならない物件であり、私にはどうも必要性が見えてこないことから建設をやめるべきと考えるが、町長の考えを伺う。

健康増進センターができたとしても、両地区の地域性も考慮しながら継続していきたいと思っております。

答弁

町長

増進センターの基礎データの根拠は道の駅であり、道の駅のレジをくぐっている方が年間21万6千人あります。そのことから道の駅に触れている人は大体50万人いるという根拠ももっています。また、上北道路による六ヶ所へのラインになっていくことや、道の駅、ふれあい村の実績等を踏まえて、基準に基づいて算出しております。また、PRの仕方もありますが、小川原湖を含めた宣伝や農産物を含めた価値などを道の駅、ふれあい村、増進センターの3点による一体感により、いやしの里として効果が出せるのではないかと思っております。

収支については多少の変動があり、当然カバーしなければならぬ状況もあるかと思えます。運動公園や保健センターにもそれなりの負担があるように、許される範囲があると思えます。



市川俊光 議員

質問一
第一小、小川原小学区の子供たちのプール使用状況はどうであったか？

町はことしから第一小学校と小川原小学校のプールを使用中止とし、上北地域でのプールの利用は上北小学校のみとされました。昨年までは、夏休みになれば、子供たちが暑さをしのぐための何よりの場所として集まってきたのが各学校のプールでした。小川原

の場合、学童保育の子供たちも毎日のように利用しておりましたが、今年の夏は一度もプールに入っておりません。私は、これまでの議会でも上北小学校のプールでは、他の学区からは利用しづらいということを指摘してきましたが、猛暑のこの夏、第一小、小川原小の学区から上北小学校のプールを利用した子供たちはどのくらいいたのでしょうか。

答弁

町長

7月21日から8月22日までのプールの期間中、第一小学区の利用日数は7日間で、利用者は37名でした。これは学童保育全員で利用したこともあり、個人では1〜2名程度かなということであり、小川原小学区については、利用日数が3日間で10名の利用者となっております。

質問二

町民プールを再開し、学校教育や町民の健康増進に役立てるべきではないか

どうしても学校プールの使用を中止せざるを得ないとするれば、活用すべきなのは町民プールではないでしょうか。

町民プールは、屋内プールであり、天候によつて使用できなくなるということがありません。また、県内でも数少ない50mプールであり、これまでに中学校の部活動や水泳競技の大会にも活用されるなど、広く役立てられてきたプールですが、今年から学校のプー

答弁

教育長

ル同様に使用中止となったのはとても残念なことです。小川原湖を抱えて、我が町の子供たちは、生涯この水辺生活をしていく中で学校教育の水泳、プール活動の位置づけというのは、しっかりとあつていかなければなりません。町民プールを修理、改修して使用できるようにすれば、学校教育にも、更には使い方次第で町民の健康増進にも大いに役立てていくことができます。なにかこれにかわる対応を考えることが教育行政に求められる仕事だと思えますが、その辺りを来年からどうするのかしっかりと答えていただきたい。

答弁

町長

町民プールについては、温泉の温度の低下もあり、温泉設備等にも財政負担が大きいことから、現在再開する考えはありません。現在、中学生には北運動公園のプールを使つてもらつており、学校からの片道をバスで輸送して対応していることも理解をいただきたいと思います。それぞれ利用価値があるところは、それなりに利用していきたいと思っております。

質問三

高校生への通学支援に取り組めないか

多くの自治体で、子供たちの成長をしっかりと支えていくという取り組みが積極的に行われており、高校生への通学の支援も大きな課題の一つではないかと考えます。我が町には高校が無く、通学

にJRの電車を利用して
方がたくさんいるようです
朝夕の大変忙しい時間帯に家
族の皆さんが駅までの送り迎
えをしていることが多いよう
です。こうした高校生の通学
の状況を調査し、町内どの
地域からも交通手段の困難を
考えずに希望する高校へと通
学できるように、町としての
対策をとっていくことはでき
ないものでしょうか。お考え
をお聞かせください。

答 弁

町 長

高校生の通学について、担
当課で調べたところ三沢高校、
三沢商業に行っている方が1
57名おります。それから、
三本木高校、十和田工業、三
本木農業高校の方が約100
名、野辺地高校が34名、計2
91名の方が通学しており、
多くの方がJRを利用して通
学していることが推測されま
す。しかしながら、広範囲に
集落があることや、放課後の
補習、部活動などにより時間
を決めてスクールバスと同じ
ように巡回するというのとは
なり無理があるのではないか
と考えます。

質問四 小川原地区にこそ戦 闘機の騒音測定器を 設置すべき

現在防衛庁の測定器は、町
内では向山、菩提寺などに設
置されていますが、小川原集
落には設置されておりません。
小川原集落は、ご存じのとおり、
基地周辺地域で最も大き
い集落であり、小学校や保育
園、郵便局などがあり、騒音
被害の実態を日常的に掌握さ
れるべき集落であるはずで
なせ基地進入直下の小川原集
落には測定器は設置されな
いのか。当然設置すべきでは
ないかというのが住民の強い
意見であります。町長は住民
説明会で出されたこの意見に
ついて、どう対応していくつ
もりなのかお答えをしてくだ
さいと思います。

答 弁

町 長

現在の騒音測定器の位置は
防衛庁が配置をしております。
この件については小川原学区
にも設置してほしいことや、
向山の測定器の位置の変更を
防衛庁に要望しております。
向山の場合は集落自体が委

員会をつくりまして、県から
独自に測定器を借りてきて調
査、報告し、町と連携しなが
ら要望活動してきた経緯もあ
ります。同じように独自の調
査であれば地域の要望を踏ま
えながら対処していきたいと
思っております。

質問五

健康増進センター計 画は白紙とすべき

町が多額な財政を使って取
り組む事業でありながら、示
されたコンセプトの中には、
農林水産業を育てる、いつま
でも元気でいられる健康づく
り、周辺に在住する外国人と
の国際的交流など、曖昧で抽
象的な表現しかされておらず、
これからの町政の中にどのよ
うに生かし、どんな成果を上
げることを目的にし、解決し
ていくか目標値も明確に示す
必要があります。町長は、91
%の補助金を強調されるが、
これまで全国の失敗した公共
施設の例は「補助金がつくか
ら、安く出来るから」と同じ
理屈でつくって失敗している
ことから妥当な発想ではな
く、21世紀を生きっていく町づ
くりの事業としては戦略に欠
けていると言わざるを得ない。

また、計画書からすると利
用の重点は温泉浴場になると
思われますが、報告書に見積
もられた営業収入を達成しよ
うとすれば、必然的に町内の
既存の公衆浴場の経営を圧迫
せざるを得ない結果となるで
しょう。

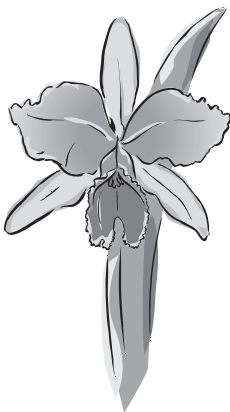
多くの町民は、ふる屋が足
りなくて困っているわけでは
なく、ふる屋に通う回数を切
り詰めなければならなくて困
っているのです。また、外国人
が使う新しいプールをつくる
より、今ある子供たちのプー
ルを使うようにしてほしい
というのが町民の願いです。
町政は、町民が切実に求めて
いることにこそこたえ、力を
集中して取り組むべきである
と考えます。これからの町の
財政に新たな負担となる可能
性を持つ新たな施設をつくる
ことは、多くの町民は望んで
いません。増進センター建設
計画は白紙とすべきと考えま

答 弁

町 長

必要性や価値についてはそ
れぞれの考え方がありと思い
ますが、事業費の補助率が約
91%であることや道の駅をベ
スにして積み上げた成果の基
礎データに基づきながら財政
の先行きを見て計画しており、
私は負担増になるとは思って
おりません。

東北町は安全、安心の食糧
基地であり小川原湖の資源、
観光もあります。また温泉も
そのとおりです。ですから、
よそにない資源を活用し、そ
して活力を持たせるといっ
とも私は必要であると考えて
おります。あるものを活用し、
連携しながら生かして成果を
出していきたいと考えており
ますのでご理解いただきたい。





★総務企画常任委員会

開催日	8月23日
事件(内容)	所管事務調査 その他

★産業建設常任委員会

開催日	8月27日
事件(内容)	向旗屋生活道路舗装に関する陳情について 県道甲地・水喰線に通じる町道巴蘭・漆玉 線の道路改良工事に関する陳情について 千曳小学校通学路(旧奥州街道)舗装に関 する陳情について 日豪、日米などFTA・EPA促進路線の 転換と、自給率向上にむけた施策の強化を 求める意見書案 アメリカ産牛肉の輸入条件に反対し、国内 での全頭検査を維持する予算措置の継続を 求める陳情について 所管事務調査 その他

★教育民生常任委員会

開催日	8月30日
事件(内容)	所管事務調査 その他

★議会運営委員会

開催日	9月3日
事件(内容)	9月定例会付議事件の概要について 一般質問の通告状況について 請願、陳情等受理状況について 請願・陳情等の取り扱いについて 議会終了後の懇親会について その他

★基地対策特別委員会

開催日	7月6日
事件(内容)	三沢基地に係る訓練移転について
開催日	7月20日
事件(内容)	三沢基地における第8飛行隊のF-2への 機種更新について ジェイタグス(JTAGS)三沢飛行場へ の配備について

★全員協議会

開催日	事 件 (内容)
8月21日	七戸病院本館耐震診断結果について 七戸病院本館大規模改修について (仮称)小川原湖健康増進センターの基本計画について
8月30日	(仮称)小川原湖健康増進センターの基本計画について

★原子燃料サイクル対策等特別委員会

開催日	事 件 (内容)
8月31日	原子力施設の耐震性について 再処理工場の耐震計算ミス問題について その他

★議会広報特別委員会

開催日	事 件 (内容)
8月23日	議会だより第9号の編集について その他

委員会報告

○総務企画

常任委員会

(8月23日開催)

委員長 沼田 徳右衛門



所管事務調査結果

総務課では、総合流域防災事業について説明があり、これは洪水予報等の伝達方法、或いは避難場所等を明示した地図を作成するため、浸水想定区域(東北町全域)を調査する事業(事業費3百万)で

あるとのことでした。

込み808人)によるとの回答でした。

次に財政課では、一般会計補正予算案(第2号)の概要について説明があり、これは、既定額に3億1268万円を追加する内容でした。歳入の主なものは、普通交付税1億1523万1千円、特定防衛施設周辺整備調整交付金800万円、立売払収入4323万4千円、老人保健特別会計繰入金2656万8千円、介護保険特別会計繰入金1634万3千円、前年度繰越金8568万9千円、夢内・根前線改良舗装事業債2510万円でした。歳出の主なものは、財政調整基金積立金1億7589万2千円、減債基金積立金1億30万3千円、部分林組合分収交付金2699万3千円、特定防衛施設周辺整備事業費1100万円、保育園運営費2134万4千円、道路新設改良費2534万3千円でした。補正後の基金の状況は、財政調整基金7億2979万8千円、減債基金2億127万円、その他目的基金13億8007万4千円でした。

次に企画課では、平成18年度青森県新産業都市建設事業団特定事業の決算報告及び平成18年度青森県新産業都市建設事業団特定事業以外の事業の決算報告について、その受託事業概要、用途売却実績、決算の概要について説明がありました。また、主要事業の進捗状況として、電算システム地域ネットワーク整備工事については、契約は締結済みですが、柱の設置に係る用地交渉中である。また、わかさぎ公園整備事業では、今月末に契約行為を進める予定になっているとのことでした。

次に税務課では、国有資産等所在市町村交付金の補正(127万2千円)について説明があり、これは自衛隊官舎(土地、建物)の防衛施設局の固定資産の価格の修正措置(5年に1回)によることでした。

次に選挙管理委員会では、各選挙(県議会、県知事、参議院)が終了したことによる選挙費の補正について説明がありました。

次に、その他の所管事項として、町有地の残地用地について質疑があり、調査は終了

し、取りまとめ中である。公
共施設の状況と一緒に、10月
以降、機会を見て開示したい
とのことでありました。また、
委員会で早い時期に現地を
確認することにしました。

○産業建設

常任委員会

(8月27日開催)

委員長 岡山 柏 男



所管事務調査結果

調査の方法として、陳情第
5号、6号の現地調査にあわ
せ、町道認定路線の現地調査
をおこない、その後、担当課
より説明を求め、質疑をおこ
ないました。

建設課では、道路橋梁維持
費の補正(300万円)につ
いて説明があり、これは姥沢
小学校前の国道394号に信
号機が設置されることから、

表町・甲田線に80mの歩道を
設置するための予算。また、
道路新設改良事業費の253
4万3千円の追加は、ふるさ
と農道事業から大量の残土が
出るため、これを有効利用し、
蓼内・根前線に暫定盛土工を
するとのことでした。次に、

住宅管理条例の一部を改正す
る条例案では、朝日団地が建
替事業により58戸から38戸に
甲地団地は解体除去により管
理戸数がなくなつたことから
改正するとのことでした。質
疑では、甲地団地について質
疑があり、町の整備計画及び
県の住宅整備マスタープラン
にも載っていることから、財
政が好転すれば、今後建設す
る予定であるとの回答でした。

次に農林畜産課では、あお
もり農産物安全性確保対策事
業(41万円)の補正について
説明があり、これは食品の安
全性の確保を図るため、生産
工程管理を策定する事業との
ことでした。また、日本一健
康な土づくり農業実践事業
(187万6千円)について

説明があり、これはとうほく
天間農協が土づくりの普及啓
蒙活動するため専門家を招聘
するための費用であるとのこ
とでした。また、東北町肉用
繁殖牛特別導入事業基金に関

する条例案については、国県
の事業の廃止に伴つて、今年
度から県が単独に引き継ぐこ
とになったことから、新しく
基金条例を設置するものであ
るとのことでした。これにと
もなつて、国庫補助金の返還
(149万4千円)が生じる
とのことでした。また、財産
の取得については、ながいも
洗浄選別・貯蔵施設のため用
地を取得するものであるとの
ことでした。

次に商工観光課では、へら
鮎いけす設置補助金(33万円)
の補正について説明があり、
これは毎年、全国花切川ヘラ
ブナ大会を開催しているが、
全然釣れないということ、
試験的に10月から4月まで花
切川にいけすを設置する補助
金であるとのことでした。質
疑では、東北町商工会につい
て、商工会の敷地を役場、議
会が売り払いたしたことにより、
商工会が居るところがなくなつ
たとの話があり、誤解を招い
ているので、誤解のないよう
に指導していただきたいとの
質疑があり、これに対し、隣
の東北温泉が温泉を増改築す
るため建物(商工会)の払い
下げ申請をし、商工会でもそ
れは町の活性化にもつながる
ことだからということ、商

工会の入る場所を探している
状況であるとのことでした。
次に水道課では、修繕料の
補正(205万円)について
説明があり、これは滝沢平地
区簡易水道の減圧弁の修繕で
あるとのことでした。

次に下水道課では、修繕料
の補正(150万円)につい
て説明があり、これは千曳地
区農業集落排水施設中継ポン
プの修繕であるとのことでした。
質疑では、下水道料金審
議会について質疑があり、上
北地区には受益者負担金はあ
るが、東北地区には受益者負
担金がない。それを合併時に
3年後に見直しをすることに
していたので、受益者負担金
の扱いを協議するため、審議
会において審議するとの回答
でした。

また、介護保険特別会計で
は、既定額17億5381万7
千円に8647万1千円を追
加し、総額で18億4028万
8千円とする補正予算の概要
について説明がありました。
歳入の主なもの、前年度繰

○教育民生

常任委員会

(8月30日開催)

委員長 佐々木 スミヨ



所管事務調査結果

福祉課から一般会計補正予
算案の概要について説明があ
り、歳入の主なものは、保育
所入所児童の減少による民生
費負担金(保育料) 710
万6千円、民生費国・県負担
金 637万7千円と介護保
険特別会計からの繰入金16
34万3千円でした。歳出で
は、児童措置費 2134万
4千円でした。

また、介護保険特別会計で
は、既定額17億5381万7
千円に8647万1千円を追
加し、総額で18億4028万
8千円とする補正予算の概要
について説明がありました。
歳入の主なもの、前年度繰



越金8275万5千円でした。歳出の主なものは、国庫等への償還金4860万6千円、一般会計繰出金1634万3千円、基金積立金2千万円でした。

次に町民課では、国保会計補正予算案について説明があり、歳入歳出それぞれ7841万6千円の追加補正するもので、歳入の主なものは国保税1428万5千円、繰入金396万2千円、前年度繰越金9653万円でした。歳出での主なものは、職員退職に伴う人件費396万2千円、財政調整基金積立金863万3千円、予備費625万5千円でした。

また、老人保健会計補正予算案では、歳入歳出それぞれ2940万8千円追加補正するもので、歳入の主なものは国庫支出金1558万9千円、繰越金1643万円であり、歳入の主なものは、諸支出金の一般会計繰出金2656万8千円でした。次に学務課では、歳入12万2千円、歳出188万4千円とする補正予算案について、説明がありました。歳入の主なものは奨学基金利子4万2千円、奨学基金寄付金8万円でした。歳出の主なものは委

託料で、教育施設費委託料では、東北中防風林枝落とし委託料26万3千円、用務員業務委託料88万9千円でした。この用務員委託料については、これまで役場職員を配置していたものを10月から民間委託することとした。甲地小学校改築事業費委託料では、建築基準法の改正に伴う新構造基準適合計算書作成業務委託料72万4千円でした。

○原子燃料サイクル対策等 特別委員会

(8月31日開催)

委員長 蛭 沢 正 雄



再処理工場の耐震設計ミス問題について

再処理工場における燃料取扱装置及び第1チャンネルボックス切断装置に関する耐震計

算の誤入力による設計ミスにより、4月中旬以降試運転を中断し、装置の補強工事をおこなってきた。この補強工事が8月17日に終了し、国の審査を受け、安全であることが確認された。その結果、第四ステップに入る準備が整い、県と六ヶ所村の理解を得た上で再開の見通しであるとのことでした。

原子力施設の耐震性について

耐震設計診査指針改定の概要及び新潟県中越沖地震を踏まえた日本原燃株式会社の対応について、並びに新潟県中越沖地震を踏まえた改善計画(経済産業大臣からの指示(平成19年7月20日)に対する改善計画を7月26日に報告)の説明がありました。

【質疑・意見等】

質問・再処理の施設も傾斜地を若干盛土している。そうなるダクトが外れて外部に放射能が漏れる可能性がある。その辺の強度がどうなっているか。

回答・重要な部分は3段階(S、B、C)に分けている。新しい指針はAクラスとA

Sクラスが一緒になってSクラスになっていきます。例えば再処理工場の場合は、燃料貯蔵プールだとか溶解槽あるいはプルトニウム溶液を内蔵しているような系統は、Aクラスということになります。それから、Aクラスとしては主排気筒があります。皆様にご迷惑がかかる、いわゆる放射能物質を外に出して環境への影響が起こるようなものについてはAクラスで設計されていますので、問題ないだろうと考えています。柏崎の2.5倍、2.7倍というような地震がきても、設備としては十分健全性が保たれていると考えられています。

質問・プルサーマル計画が頓挫している今の状態で、再処理をして、燃料を作ることに必要なかどうか。

回答・2010年までに16基、18基の原発で実施する計画です。現実問題、一番進んでいるのが九州電力の玄海の発電所。それから四国電力の伊方。これは一応、地元の了解を頂いて燃料の発注もしています。ただ、一番厳しいところは東京電力で、実は東京電力は福島

も新潟も燃料は海外から送り込まれてきている。燃料を移動するだけでプルサーマルはできるのですが、今回の地震があつて恐らく時間がかかるでしょうから厳しいと。ただ、各電力とも目標は目標としてがんばるといふことを話していますので、期待したいと私もは言わざるを得ない状況です。

質問・今、陸と海の調査をしている。それについて、もう少し調査の結論が出て対策が講じられてから、次のステップに入るべきだと思ふ。

回答・柏崎では想定を上回る2.5倍以上の地震がきたにもかかわらず、原子力の本体の基本的な安全確保がきちり確保できた。基本的に、あれだけ大きな地震が起きてても基本的な部分は確保されているということが、一つです。それから、私も自信を持って言えることは、活断層調査を全部やっている。しかも、新しい反射法といわれるやり方で実施し、出戸西方断層以外に無いことを確認している。それから、沿岸10kmの活断層を調査しまして、沿岸に平行し

て走る断層が無いことを確認しているものですから、十分な耐震安全性を持ち得るということ、再処理施設については、新指針に基づいたバックチェックと並行してアクティブ試験を進めさせていたきたいというふうに思っております。

質問・自衛の消防隊は相当数の防護服があるだろうと思うが、消防署にどれだけの数の防護服が配備されているか。それから広域消防との連携について、どのようにとり組んでいるのか。

回答・六ヶ所消防には置いてあります、それ以外の消防署にどれくらい置いてあるか調べさせていただきます。また、中部上北との連携がどうなっているかという点ですが、北部上北との連携は常時やっております、年一回合同の訓練をやっております。それから、専用線も置いてあります。なにかあれば消防に連絡する体制になっております。そこはしっかりとしたものも構築されている。中部上北も含めた広範囲な連携については、調べさせていただきます。

質問・風評被害について回答・具体的に新潟で、どの程度の風評被害が起こっているかということは、新聞報道等でしか知り得ておりません。事業者も公表していません。我々としては何かあった時は、皆さんのお気持ちは十分理解しているつもりですので、なんとか風評被害を起こさないような形で正確な情報を迅速に、そして初期対応が重要だと考えております。

質問・県とか原燃はシーベルトを使って、新聞を見るとベクレルになっている。我々は単位の意味がよくわからない。この辺もマスコミにも統一してもらわないと理解しにくい部分がある。その辺もこれからやってみてほしい。

回答・それはご指摘のとおりでして、一番重要なのは人体に与える影響。これはミリシーベルトという単位でいわれる。それが一番重要なんです。ところが、ベクレルですと非常に単位数が多いものですから、一瞬驚いてしまいます。ところが、人体への影響は0.00なんミリシーベルトで全く影響がない。

ただ、マスコミの皆様との勉強会でも絶えずその話をしています。大分、ここは理解が進んできたと思えます。反対の立場の方は意図的にシーベルトを使わない。ベクレルで全部話をされているものから、そういう理解活動は続けてまいりたい。

質問・防災無線は、六ヶ所は六ヶ所、流れるけれど、野辺地は北部上北事業組合です。その辺の連携が取れていると思うが、野辺地より六ヶ所に近い5km圏内にある東北町の集落に万が一の場合連絡がとれない。それで救済体制ができないとなると大変な事態が生じる。この辺は統一し、総合的な観点からきちんと整理してもらわないと。

質問・中越沖地震で施設が破壊され、ドラム缶の蓋が取れたりした。再処理施設に低レベルの貯蔵施設がありますが、その耐震は。回答・発電所サイドは、低レベルのドラム缶を私どもの方に運んでくる前に大きい貯蔵庫をつくりまして、単純に積んでいく。それだけなものですので今回、崩れてしまった。場合によっては蓋が取れてしまった。ところが現実問題、低レベルの場合、放射線も高くありませんし、蓋が取れたとしてもコンクリートで中を固めてありますから、中の低レベル廃棄物が流れ出るというものではない。わが方は受け入れて検査して、地中へ埋設してありますので、ああいうことにはならない。それから貯蔵施設には、割れ目が多く、崩れやすい地盤は局所的に一部あることはあるのですが、全体20数本ボーリングして、その平均のRQD(地盤の固さを

示す指標)の値が90%以上で非常によい。全体の平均が97%。そういう意味では、非常によい岩盤の上に埋設しているとはつきりいえる。是非、そういうご理解を賜りたい。

質問・プールの水が人にかかった場合、害が有るのか。回答・特段ありません。飲んでもよいものではないですが、飲んだところでどうってことのないくらいのレベルのわずかな放射性物質は入っています。

質問・十勝沖地震以上の地震があつて、想像を絶する災害があつた場合を想定して、中部上北の消防署に防護服の配備を調べて頂きたい。回答・その辺は調べてもらいます。

意見・職員教育をきちんとやらないと、マニュアルは作っただけで、やっぱり職員の意識次第だと思つ。いままでの一連の事故は慣れによる人為ミスです。そういうことで、会社の風土をきちんと作り上げていただきたい。意見・核燃税を近隣に配分するよう要望しております。

回答…更に関係市町村で、核
燃税の隣接配分について要
請をしていきたい。

○基地対策

特別委員会

(7月6日開催)

委員長 森川盛人



三沢基地に係る訓練移転に
ついて

【訓練移転の概要】

2006年5月1日に公表
された「再編実施のための日
米のロードマップ」により、
嘉手納、三沢、岩国飛行場の
3米軍施設からの航空機が、
千歳、三沢、百里、小松、築
城(ついき)及び新田原(にゅ
うたばる)の自衛隊施設から
行われる移転訓練に参加する。
双方は将来の共同訓練・演習
のための自衛隊施設の使用拡

大に向け取り進むこととされ
た。これを受けて、平成19年
1月31日に公表された「米軍
再編に係る訓練移転に関する
平成19年度計画」の概要が示
された。

・1回につき1〜5機の米軍
機が1〜7日間参加する訓
練。19年度内に嘉手納、岩
国及び三沢の3米軍施設か
ら、千歳、三沢、百里、小
松、築城、新田原基地へ計
12回程度予定されている。

(タイプ1訓練)

・1回につき6〜12機の米軍
機が8〜14日間参加する訓
練。これは19年度内に計3
回程度予定されている。

(タイプ2訓練)

・共同訓練米軍自衛隊の実施
基地、訓練時期、訓練概要
は適宜公表し、関係自治体
に通知する。ただこの訓練
は、三沢から他飛行場に行
くこともあるし、他飛行場
から三沢へ来ることもある。
こういふ出入りがある。
・訓練は、三沢飛行場及びそ
の近隣の上空を使用するの
訓練は行わない。決められ
た訓練区域、例えば太平洋
とか日本海等での訓練とな
る。NLP(夜間離着陸訓
練)は行わない。

【再編交付金の概要】

イ) 訓練移転を受入れ表明す
ることにより再編交付金が
交付されることになる。

ロ) この交付金は、在日米軍
の再編にからみ戦闘機の訓
練移転等に伴って、負担増、
要するに騒音被害等を受け
入れる自治体に対し10年間
の期限立法で再編交付金が
交付される。

ハ) 再編交付金の交付基準で
ある騒音第二種区域向山地
区の一部が当町に所在する。
したがって、わが東北町と
しても負担増が避けられな
い状況にあることから、交
付対象自治体指定の要請を
する。

ニ) 訓練移転先の基地を抱え
る全国22の市町村は既に受
け入れを表明している。青
森県では三沢市(三沢基地)
つがる市(車力分屯基地の
Xバンドレーダー)が関係
しています。

ホ) 再編交付金を支給するこ
とを柱とした米軍再編推進
法が本年5月23日に可決、
成立している。これを受け
て3ヶ月以内に政、省令等
が整備され、対象防衛施設
及び対象市町村が明記され
る。したがって、8月頃まで
に確定されると考えている。

ア) 平成19年度予算に再編交
付金約51億円計上されてい
る。現時点では、交付対象
市町村及び市町村ごとの交
付額は未定である。政、省
令等が整備された中で確定
することとなっている。

ト) 再編交付金の交付対象事
業は箱物事業だけでなく、
地元の防犯対策や環境育成
など、住民生活の利便性向
上・産業振興に寄与するよ
うなソフト事業も対象にな
る見込みとなっている。

【質疑・意見等】

質疑…市町村の負担増とは、
どのような負担増か。

回答…金銭的な負担の増では
ありません。訓練のため騒
音をまきちらすという意味
での負担増ということです。

質疑…この訓練は19年度限り
か。

回答…今年度も含め、19年度
以降もということですが、

質疑…緊急的に全員協議会を
やらなければならぬほど
の重要案件をなぜ今、特別
委員会という形になったの
か。事前にわかっていただけ
では。

回答…7月3日にこの計画の
概要がわかりました。緊急
を要したということでご理
解いただきたい。

質疑…5月に再編計画が公表
され、三沢市は特別委員会
等で事前に対応している。
また、8月に再編交付金対
象市町村が公表される。もっ
と早く情報を得て対応すべ
きでなかったか。

回答…具体的な内容について
説明があったのは、7月3
日が最初です。再編交付金
の対象自治体になるかどう
かについては勉強不足であっ
た。経過等の情報を含めて、
至らない点があったことを
お詫びいたします。全員協
議会の理解を頂いて、力強
く要望してまいります。

意見…東北町は三沢基地の隣
接であって、騒音被害等で
地元並みの負担がなされて
いる。東北町を軽視してい
るようなことであれば、
「反対せざるを得ない」と
いうぐらいの意思表示が必
要でないか。
以上のような質疑、意見が
あり、訓練移転の受け入れに
ついては、特に異を唱える意
見はありませんでした。

(7月20日開催)

三沢基地における

第8飛行隊のF-2への機種更新について

三沢基地に配置されている戦闘機F-4の老朽化に伴うF-2への機種更新は当初、平成18年度からの予定であったが、予算の都合で遅れ、今年度から3カ年で行う。このF-2はF-4に比べて騒音が1割程度低い。F-4は平成20年度で使用廃止となる。

ジェイタグスの

三沢飛行場への配備について 計画によると、ジェイタグス運用のために、米国コロラド州コロラド・スプリングスにある米陸軍第一宇宙中隊分遣隊18人が配置される。配備時期は8月を予定しており、日本国内での運用は初めて。ジェイタグスは移動式のユニット型で、三基の衛星アンテナと受信機、通信装置、表示装置などで構成。早期警戒衛星から弾道ミサイルの発射データを受信・処理し、ミサイルの着弾予想や時刻を割り出し、迎撃ミサイル部隊などに伝える。

弾道ミサイル防衛システムは、弾道ミサイル攻撃から日

本国民の生命・財産を守るための純粋に防衛的代替手段のない唯一の手段である。ジェイタグスの配備は、弾道ミサイル防衛システムの能力を強化するものであり、我が国の安全保障及び日米同盟関係の強化に資するもの。

ジェイタグスの運用により周辺住民の健康や環境に対する影響はない。また、テレビ、ラジオ及び航空通信に障害があったとの実例はない。通常の運用は商業電源から電力が供給され騒音の問題はない。

ジェイタグスの配備により新たな通信システムが配備されるが、新たな航空機の配備や現有の航空機による飛行回数も増えることもなく、三沢飛行場の基地インフラ等への大きな影響は見込まれていない。よって、基地機能の強化ではない。

【質疑・意見等】

これを機会に住宅防音区域の見直しをしてみらわないとならない。

基地も原燃も地元並に。さもなければ隣接でも一ランク上に位置付けできないか。再三再四、こういう機会を設け、進んでいくべきだ。

・原燃も基地も軒下にいなから、何の恩典も受けられないで来ている悔しさがある。これから、この種のものが来ると思う。東北町は小川原湖を含め、飛行場の軒下なのだから、全てこの種の諸々のことがあつたら、「地元三沢並みにいろいろそうした配慮を」ということを国に要請して、そうでなければ、特別委員会では「認め難い」としたらどうなのか。

以上のように、地元並みに安全・安心対策や騒音対策、地域振興策の実施を求める意見が述べられた。

第一回 臨時会

10月17日第1回臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

◎平成19年度東北町国民健康保険事業特別会計補正予算案 全会一致で可決

◎平成19年度東北町上水道事業会計補正予算案 全会一致で可決

・支出予定額を246万円追加し、資本的支出の予定額を5126万3千円とする。 全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について 東北町立甲地小学校校舎改築(建築)工事について請負契約を締結するためのもの。 全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について 東北町立甲地小学校校舎改築(電気設備)工事について請負契約を締結するためのもの。 全会一致で可決

◎工事請負契約の締結について 東北町立甲地小学校校舎改築(機械設備)工事について請負契約を締結するためのもの。 全会一致で可決

◎平成19年度東北町一般会計補正予算案 予算の総額に291万7千円を追加し、総額を103億387万8千円とする。 全会一致で可決

年賀状 欠礼のお知らせ

議員による寄付行為や自書以外のあいさつ状は、公職選挙法によって禁じられております。従って印刷による年賀状は欠礼させて頂きますので、よろしくご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 東北町議会議員一同

編集後記

今月は議会だより第十号をお届けします。 本号は九月定例会の審議内容を編集しましたが内容の一部を要約しておりますことをご了承ください。 編集委員会では町民の皆様にお知らせの紙面作りを心がけております。ご意見、ご要望等ありましたら匿名でも結構ですので、ご投稿をお願いします。

- 議長 榎館 長吉
委員 笹倉 健
副委員長 蛭沢 正雄
委員 佐々木 スミヨ
委員 沼田 徳右衛門
委員 森川 盛人
委員 岡山 粕男